令和3年4月 発地別延べ宿泊者数割合

- 1	15	36	ж,

(単位:人泊、%)

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北·北海道	国内計
令和3年4月(速速報値)	41,889	67,465	30,189	2,853	9,562	12,722	5,404	23,968	1,738	195,790
令和2年4月(速速報値)	13,763	24,176	11,150	1,427	3,824	5,383	2,112	8,849	863	71,547
前年同月比	304.4	279.1	270.8	199.9	250.1	236.3	255.9	270.9	201.4	273.7
2019年4月(速報値)	52,574	97,396	58,733	11,980	28,760	33,028	16,548	53,064	6,707	358,789
2019年同月比	79.7	69.3	51.4	23.8	33.2	38.5	32.7	45.2	25.9	54.6
2018年4月(確報値)	49,577	91,684	50,983	9,455	25,370	22,783	11,875	41,825	5,176	308,728
2018年同月比	84.5	73.6	59.2	30.2	37.7	55.8	45.5	57.3	33.6	63.4
令和3年3月(速速報値)	39,303	78,331	34,280	4,223	13,262	20,596	9,524	30,261	2,254	232,034
前月比	106.6	86.1	88.1	67.6	72.1	61.8	56.7	79.2	77.1	84.4
【国外】										

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和3年4月(速速報値)	*	*	*	*	*	*	*	558
令和2年4月(速速報値)	*	*	*	*	*	*	*	466
前年同月比	*	*	*	*	*	*	*	119.7
2019年4月(速報値)	46,549	5,713	9,295	12,283	2,459	3,469	4,047	83,815
2019年同月比	*	*	*	*	*	*	*	0.7
2018年4月(確報値)	49,922	7,224	7,082	11,307	3,556	2,945	2,667	84,703
2018年同月比	*	*	*	*	*	*	*	0.7
令和3年3月(速速報値)	*	*	*	*	*	*	*	1,560
前月比	*	*	*	*	*	*	*	35.8

* 令和2年、令和3年発地別宿泊者数は、サンプル数が過小のため表示しない

【全体】

令和3年4月(速速報値)	196,348
令和2年4月(速速報値)	72,013
前年同月比	272.7
2019年4月(速報値)	442,604
2019年同月比	44.4
2019年同月比	
2019年同月比 2018年4月(確報値)	
	44.4

前月比

合計

233,594

84.1

①R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。 この変更に伴い、R2年、2019年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。

※発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典:大分県観光統計調査

<傾向・分析>

令和3年3月(速速報値)

- ・国内の延べ宿泊者数は前年同月比273.7%。新型コロナウイルス感染症発生後初めての緊急事態宣言が発令された前年4月と比べると大幅に増加。
- 一方、前々年同月比は54.6%、前前々年同月比は63.4%となっており、コロナ禍前の状況からは依然戻っていないことがわかる。
- ・国内宿泊者数は前月比84.4%。 4月に入り、全国各地で「まん延防止等重措置」の適用や4都府県に再び緊急事態宣言が発令されたことなどから減少に転じる。
- 一方、県内の宿泊者数は前月比106.6%と唯一増加。「新しいおおいた旅割」等の影響と考えられる。
- ・国外の延べ宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年同月比からは119.7%と増加しているが、前々年同月比、前前々年同月比は共に0.7%と大幅に減少。多くの国で海外渡航制限等の措置が継続中。
- ・全体の延べ宿泊者数は前年同月比の272.7%。コロナ禍前の前々年同月比は44.4%、前前々年同月比は49.9%と、いずれも半数以下となる。

令和3年4月の宿泊客等の動向

(令和2年4月~12月速速報、令和3年1月~4月速速報)

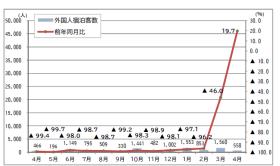
(1)宿泊客の動向

令和3年4月の宿泊客数の前年同月比は、速速報で+172.7%となる見込み。



(1)-②外国人宿泊客の動向

令和3年4月の外国人宿泊客数の前年同月比は、速速報で19.7%となる見込み。



※R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。 この変更に伴い、R2年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。

(1)-①日本人宿泊客の動向

令和3年4月の日本人宿泊客数の前年同月比は、速速報で+173.7%となる見込み。



(2)有料観光施設(入場客)の動向

令和3年4月の有料観光施設(入場客)の前年同月比は、速速報で+527.6%となる見込み。 (調査対象施設28施設)



※観光施設の対前年比は、休廃業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表して いる値と比較すると一致しない場合があります。

出典:大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- ・日本人宿泊客は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が初めて全国に発令された令和2年4月~5月にかけて最も減少。その後、緊急事態宣言の解除やGoToトラベルにより増加するも、 秋頃からの感染者数の増加、 12月にGoToトラベルの一時停止や1月には一部地域に緊急事態宣言が発令されたことなどにより再び減少に転じる。その後、3月に緊急事態宣言の全面解除や、 県内向け「新しいおおいた旅割」等の影響で増加したが、4月に入り全国で感染者数が増加、全国各地で「まん延防止等重点措置」の適用や4都府県に緊急事態宣言が発令されたこと等を受けて減少に転じる。
- ・有料観光施設の動向については、緊急事態宣言下で多くの県内観光施設において入場制限や営業時間の短縮、休業等の措置がとられた前年4月に比べると627.6%と大幅に増加。
- ・外国人宿泊客は、新型コロナウイルス感染症の影響で海外渡航制限等の措置が取られ、令和2年4月以降観光目的の宿泊客数はほぼゼロとなり、令和3年4月まで続いている。
- ・全体においては、インバウンドの回復がない中、国内宿泊者の動きがそのまま反映されたかたち。